

図書館だより

第 1 0 号

H. 4. 5. 20

神戸大学附属図書館医学部分館

医学部分館長に就任して

分館長 岡田安弘

この度神戸大学附属図書館医学部分館の分館長として、図書館のお世話をさせて頂くことになりました。私としましては今まで図書館を利用させて頂く立場にありましたが、図書館のお世話をすることになり少々とまどっているところです。素人ながら利用し易い図書館にすべく、微力を尽くしたいと思っております。

本医学部分館は、最近事務系の一本化がなされたものの、神戸大学附属図書館の中では地理的にまた内容的に独立した存在で、医学部、附属病院の教官、医員、大学院生、研究生、パラメディカル関係者、学部学生の皆さんの利用され易いようになっております。たとえば、山鳥前分館長はじめ図書館分館の事務の方々の多大の努力のおかげで、平日開館が夜9時までとなっているのは本分館のみでありますし、独自の図書館だよりも発刊されています。さらに医学生のための MEDICATS（医学教育システム）や U-matic video を通じて学生の国家試験や医学の習得に役立つ努力がされています。その他オンライン文献情報サービスなど多くの文献検索も可能であります。

現在ある分館の建物は、昭和37年アメリカの China Medical Board（第二次大戦前にはその基金が中国の医学教育の振興にあてられていた）の援助を得て設立されたものであり、東大や阪大の医学図書館（これらも China Medical Board の援助で建てられた）と並んで新しい独立した医学図書館として、当時羨ましがられたものでした。その後30年を経て本分館は近い将来に改築される方向で努力がなされているところであります。既に幾度か改築委員会も開かれ、その素案なるものもある程度出来上がっているようであります。しかしその案は決して最終決定されたものではなく、今後も改築の実現化と共に利用者の皆さんの率直な意見を戴きながら、より立派なものに改変されていくものと思っております。

これからの図書館は図書の書庫としての性格をもつだけでなく、音声資料、映像資料などの保管は勿論のこと、データベースからの情報検索、さらに他図書館との密接な連絡、そして国際的な文献索引などの電算化など、なすべき様々な課題があります。その意味で六甲台で新設予定されている総合学術情報館（インテリジェント・ライブラリー）の在り方と方向も今後参考、利用させて頂かなければと思っております。

誰もが認めていますように、図書館の充実はその大学、学部のアカデミーの基盤であり、中心であるべきであります。その意味で図書館の内容と充実について、利用される皆さんが常に興味を持ち、発展的なセッションをお寄せ下さることを切に願います。

分館長辞任に際して

山 鳥 崇

私はこの度3月30日付けをもって神戸大学附属図書館医学部分館長を辞任いたしました。2期の任期を大過なく勤められましたのは、図書館内外及び医学部内外の皆様方の御指導と御協力の賜と、心から感謝しております。

去る4年前分館長に就任しました時、先ず図書館（分館）と医学部の構成員の皆様とのコミュニケーションを良くしようと思ひ、館員の人達の賛成を得て、「図書館だより」を発行することにしました。その第1号の挨拶で、図書館への要望は何でも言ってきてほしいという意味のことを書いたのですが、これに対して早速反応があり、臨床系の多くの人達から夜間開館を実現せよとの事でした。これは私も考えていた事でしたので、この問題を第一の優先課題として取り上げる事にし、早速分館の運営委員会に諮ると共に医学部当局や本館側とも相談して、先ず夜間1時間の延長を半年間実施し、同時に2年目の1989年度から夜9時までの完全夜間開館を実施すべくその準備に入りました。そして関係者の方々の御協力を得て、これが予定通り実現出来ました。この事は私にとって本当に嬉しい事でした。当時の医学部当局の方々、本館の方々、分館の掛長の方々に改めて感謝する次第です。これによってことに夜間の利用者が増加した事は、別図に示す通りです。

第2の問題は、図書館の改築に関する事です。病院の改築に伴って図書館の改築移転も長期計画の一つになっていりましたが、3年ほど前からいよいよ準備しなければいけないと思うようになりました。そこで分館の運営委員会の中に改築小委員会を設けて、図書館自体の改築案を作ると共に、同窓会で考えられていた生涯教育研修センターを図書館に併置出来ないかと、その可能性を探りました。この問題は昨年度に入って急に進展し、医学部内に医学部研究棟等改築委員会と病棟等改築問題特別委員会が設置されて、具体的な改築案の検討が開始されました。そして昨年後半から今年初めにかけての図書館が関係する医学部研究棟等改築委員会と大学の施設部との数回の話合いで、改築についての大筋での合意が得られるに到りました。同時にまた医学部当局と神緑会理事との話合も持たれ、1994年度の医学部創立50周年記念事業の一つとして神緑会が医学部に生涯教育研修センターを寄贈する事、またそれを改築される新しい図書館に何らかの形で併置する事が決まりました。

第3の問題は、図書館のコンピューター化です。まず貸出業務のコンピューター化ですが、これはまだ実現していません。実は私は最初からこの問題に取り組もうとしたのですが、医学部においては、書籍や製本雑誌の利用よりも未製本の新着雑誌の利用が多く、他学部で使用している書籍貸出用のソフトがそのまま利用出来ないという問題のある事を知りました。また図書館が近い将来に全面的な改築を控えているという事もあって、この問題はそれまで先送りすることにしました。そして出来る事から手を着ける事にして、1990年度に学生用教育システムであるMEDICATSの導入、1991年度には研究者用のCD-ROM文献検索システムであるSilver Platter Information Systemの導入を行いました（一般利用開始準備中）。前者は、後援会にお願いして寄付していただきました。後者は、学部長と財務委員会にお願いして学部の予算で購入していただきました。それぞれ森川前医学部後援会長と後援会の皆様、本間医学部長と財務委員会の皆様に感謝する次第です。

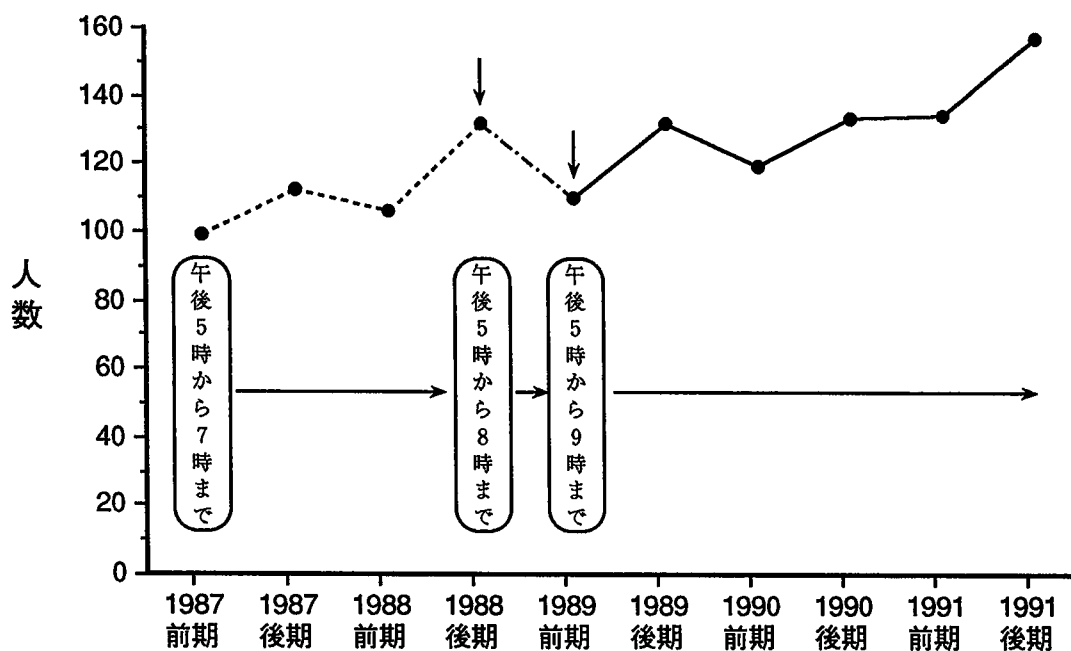
また CD-ROM 文献検索システムの購入については、これを助言してくださった館内の現掛長の皆様にも感謝したいと思います。

私の後任の分館長には、第一生理の岡田安弘教授が発令されました。岡田安弘教授は、図書館に関心の深い有能な教授です。私は安心して後事を託して辞めていく事が出来ると喜んでます。また本年（1992年）度から新しい構想のもとに設置される神戸大学附属図書館の運営委員会の委員には新分館長と共に岡田昌義教授が決まりました。岡田昌義教授は過去4年間分館の運営委員として積極的に分館の運営に協力して下さり、図書館の事には明るい方です。図書館は、大学や地域における情報の中枢として、今後益々その重要性を増して行くことが考えられます。医学部分館の当面の問題は、改築にあたってのより詳細な具体案の作成と、サービスの完全なコンピューター化であろうと思われませんが、より遠い将来を見定めての内容の改革も、常に加えられて行かなければなりません。医学部内外の関係者の皆様方の図書館への御理解と変わらぬ御支援をこの機会にお願いすると共に、私も今後図書館の事に関しては、常に協力して行きたいと思っています。

最後に改めて医学部分館の運営委員会の皆様、及び前任の山西掛長、後藤掛長、現任の窪田掛長、敏安掛長、池川掛長を初めとする館員の皆様に、分館長在任中の御協力を謝したいと思います。

1992年4月18日

1987年～1991年 1日当り夜間入館者数の推移



平成 3 年度 図書館備付学生用図書一覧

(二次分)

1.	Principles of neural science / Eric R. Kandel [et al.]	Elseiver
2.	Biochemistry / Lubert Stryer	W. H. Freeman
3.	Cecil textbook of medicine; vol.1,2.	Saunders
4.	Genes IV / Benjamin Lewin	Oxford U. Press
5.	Genes & genomes / Maxine Singer	Univ. Science Books
6.	Textbook of medical physiology / Arthur C. Guyton	Saunders
7.	Medical examination review: Anatomy	MEPC
8.	" Behavioral sciences	MEPC
9.	" Biochemistry	MEPC
10.	" Microbiology	MEPC
11.	" Neurology	MEPC
12.	" Obstetrics & gynecology	MEPC
13.	" Pathology	MEPC
14.	" Pediatrics	MEPC
15.	" Pharmacology	MEPC
16.	" Physiology	MEPC
17.	" Public health and community medicine	MEPC
18.	PreTest series: Basic science series. Anatomy	McGraw-Hill
19.	" Behavioral sciences	McGraw-Hill
20.	" Biochemistry	McGraw-Hill
21.	" Microbiology	McGraw-Hill
22.	" Pathology	McGraw-Hill
23.	" Pharmacology	McGraw-Hill
24.	" Physiology	McGraw-Hill
25.	PreTest series: Clinical science series. Obstetrecs & Gynecology	McGraw-Hill
26.	" Pediatrics	McGraw-Hill
27.	" Psychiatry	McGraw-Hill
28.	" Surgery	McGraw-Hill
29.	A primer of water, electrolyte, and acid-base syndromes	Lea & Febiger
30.	Williams' textbook of endocrinology	Saunders
31.	Principles and practice of pediatrics	Lippincott
32.	今日の治療薬 1991年版	南江堂
33.	遺伝子の分子生物学 上・下 第4版	トッパン
34.	物理療法・鍼灸マニュアル / 玉川鐵雄、西條一止編集	南江堂
35.	生物学 上・下 / David E. Metzler [著]	東京化学同人
36.	がんのバイオサイエンス 1-5	東京大学出版会

37. 医系免疫学 / 矢田純一著 改訂2版	中外医学社
38. 神経局在診断 / Peter Duus [著] 第3版	文光堂
39. 臨床神経学の基礎 / Jasper R. Daube [ほか] 著 第2版	メディカル・サイエンス・インターナショナル
40. 内科レジデントマニュアル / 第3版	医学書院
41. PO臨床診断マニュアル / H. Harold Friedman [編]	メディカル・サイエンス・インターナショナル
42. レジデント初期研修マニュアル / 塚本玲三 [ほか] 編	医学書院
43. 薬物受容体 / 高柳一成編 第2版	南山堂
44. 外科研修マニュアル / 田辺達三、内野純一編	金原出版
45. 図解心電図学 / Mervin J. Goldman [著] 改訂12版	金芳堂
46. 異常値の出るメカニズム / 河合忠 [ほか] 編 第2版	医学書院
47. 臨床検査ガイド / 和田攻 [ほか] 編	文光堂
48. ベッドサイドの小児の診かた / 山下文雄 [ほか] 編	南山堂
49. 広辞苑 / 新村出編 第4版	岩波書店

完全週休二日制に伴う土曜日の開館について

平成4年5月1日から完全週休二日制の実施に伴い、土曜日は完全閉館を余儀なくされますが、神戸大学附属図書館運営委員会での討議の結果、平成4年度に限り教育・研究上の必要から過渡的措置として下記の要領で開館します。

なお、平成5年度以降につきましても検討を続けることになっています。

一部不便をお掛けすることになりますが、事情御理解の上御協力をお願いします。

記

1. 開館時間：

12時30分から15時30分まで

2. サービス業務：

館内閲覧、館外貸出、返却

3. 休業期間中（夏休み、冬休み、春休み等）の措置：

休業期間中の土曜日は閉館します。